

JR東 検修部門の外注化弾劾!

動労千葉がストライキ決行中

国鉄千葉動力車労働組合（動労千葉）は、幕張と千葉の車両センターで、10月1日から第1波24時間、3日から第2波36時間のストライキに突入しています。JR東会社が検査・修繕部門の外注化を強行したことに對する渾身の反撃です。職場は「総反乱」状態、青年労働者が次々とスト破りを拒否して決起し、業務がストップしています。

安全崩壊、雇用破壊を許さない

電車のモーターや車輪などの定期点検、整備、修繕を行う検査・修繕業務は、鉄道の安全を根幹で支えている仕事です。この10年間で、保線、電力、信号通信などの業務が次々と外注化され、レール破断事故が続発してきました。この上、検査・修繕業務が外注化されれば、第二第三の尼崎事故が引き起こされることは必至です。

外注先は、車内清掃しか実績のない下請け会社です。だからJRの社員を強制的に出向させて同じ仕事をやらせるという本末転倒ぶりです。これは、偽装請負の脱法行為であり、違法な労働者供給です。数年先には、転籍させて労働条件を引き下げ、新規採用は契約社員や派遣にしていく狙いです。外注化は、雇用を破壊して青年の未来を奪う攻撃でもあるのです。

外注化を阻止し、非正規職をなくそう

90年代以降、人員削減・コストダウンの切り札とされてきた外注化（アウトソーシング）。それがもたらしたものは何だったのか。

正社員のやっていた仕事を下請け会社に丸投げされ、低賃金・無権利の契約社員や派遣社員にとつてかえられました。労働者はモノ扱いされ、働がいがいも誇りも奪われてきました。外注化こそ、労働者をワーキングプアに突き落としてきた元凶です。

雇用破壊の結果、貧困と格差が広がり、年金も医療も教育も崩壊し、社会が成り立たなくなっています。人間の命と尊厳よりも金儲けが優先される社会を変えましょう!

動労千葉の「外注化阻止、非正規職撤廃」の闘いは、新自由主義がもたらしたすべての現実をひっくり返し、人間が人間らしく生きられる社会をつくりだしていく闘いです。

抗議先/JR東日本ご意見承りセンター
050(2016)1651
(9時~18時)

激励先/国鉄千葉動力車労働組合

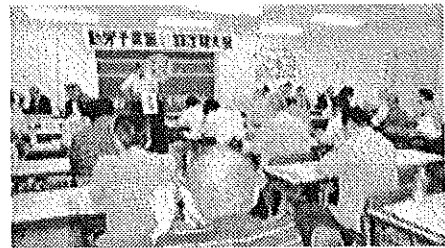
電話043(222)7207

FAX 043(224)7197

Email doto-chiba@doto-chiba.org

動労千葉への激励・

支援とJR東日本への抗議の声を集中してください。



外注化阻止へ!スト権確立(9月23・24日)

全国労働組合交流センター

東京都台東区元浅草2-4-10五宝堂伊藤ビル501 電話03-03-3845-7461

